

カリキュラム

機構施設名: 奈良職業能力開発促進センター
実施機関名: 株式会社テクノ経営総合研究所

A. 生産管理	生産・開発計画	ものづくりの仕事のしくみと生産性向上
----------------	----------------	---------------------------

コースのねらい	製造業の業務の流れと各部門の役割について学び、製造業全体の基本的なしくみを理解するとともに、製造現場での仕事に対する考え方、自身の立場や責任を理解し、業務改善の考え方を習得する。
----------------	---

	「基本項目」	「主な内容」	訓練時間 (H)
講義内容	1 ものづくりの仕事の流れ	(1) 企業の使命とは 「企業の使命は何か」など、リーダーとして知っておくべき基本的な知識や考え方を理解する (2) 製造業を取り巻く環境 製造業を取り巻く環境について解説するとともに、多くの企業における共通の問題点である技能伝承や人材不足などの問題点について説明を行い、その解決の方向性を指示す (3) 仕事を円滑に行うためのコミュニケーションとは【演習あり】 問題点を解消するためには必要不可欠である「今どきのコミュニケーション」についての基礎を学ぶ 演習では、問題を解決するためには欠かせないコミュニケーション力やリーダーシップについて体感する	1.0
	2 ものづくり現場の現状と課題	(1) ものづくり現場の基本となる4つの要素 ものづくり現場の現状や課題を考える上で重要な4つの要素(安全、品質、コスト、納期:SQCD)の優先順位や各要素の重要性を理解する (2) 安全はすべてに優先する【演習あり】 ものづくり現場において最も重要な要素である安全について、事故が起こる原因を人が起こすミスを切り口として解説するとともに、ルールを守る、守らせるためのリーダーの役割について理解を深める 演習では、不安全行動を起こしてしまう原因に気づくことで、安全な職場づくりについて考える (3) 顧客の信頼を得るための基本である品質とは 【適正な品質】について解説するとともに、品質を維持・向上するために必要な考え方を理解する (4) スムーズなものづくりのための仕組み スムーズな生産を実現させるために必要となる基本的な生産管理の仕組みを理解する また、仕組みを円滑に運用するために重要となる風通しの良い組織連携についても考えさせる (5) コスト意識を養う 基本的な原価構成について理解を深め、コストダウンを実現するために必要となる基本的な考え方を学ぶ	2.0
	3 ものづくりに関する業務改善	(1) 全ての基本である5Sとは【演習あり】 全ての業務の基本である5Sを効果的に推進するために、その真の目的や意味を分かりやすく説明することで理解を深めるとともに自職場での具体的な進め方を学ぶ 演習では、5Sの効果を実感することによって、その重要性を理解する (2) 業務改善を行うために必要な考え方とは【演習あり】 ムダを探すためには、自分たちの部門において価値ある業務が何かを知ることが大切であることを理解し、価値ある業務比率を評価するツールであるIE手法について学ぶことで、定量的評価方法を習得する 演習では、IE手法による価値比率の評価を体感することで職場導入をスムーズに行きつけとする (3) ムダの見つけ方のポイントと日常業務のムダ探し【演習あり】 改善の糸口となるムダを見つげるためのポイントを知り、日常業務の中に潜在化しているムダを探すことで改善活動を推進するための原動力とする 演習では、ムダ探しの実践を行い、職場においてすぐにも活用するための考え方を習得する	3.0
合計時間			6.0

カリキュラム作成のポイント
単に基本的な知識を学ぶだけではなく、それを自分たちの職場にどのように落とし込んだらよいかという具体的な進め方を講義と演習を組み合わせることによって理解を深め、「単に知っている、理解している」から「やっている、できている」と感じることができるためのカリキュラムとします また、様々な業種の顧客との改善活動を通じて得られたコンサルタントとして知識や経験を、できるだけ具体的な事例を用いて分かりやすくお伝えしていきます